

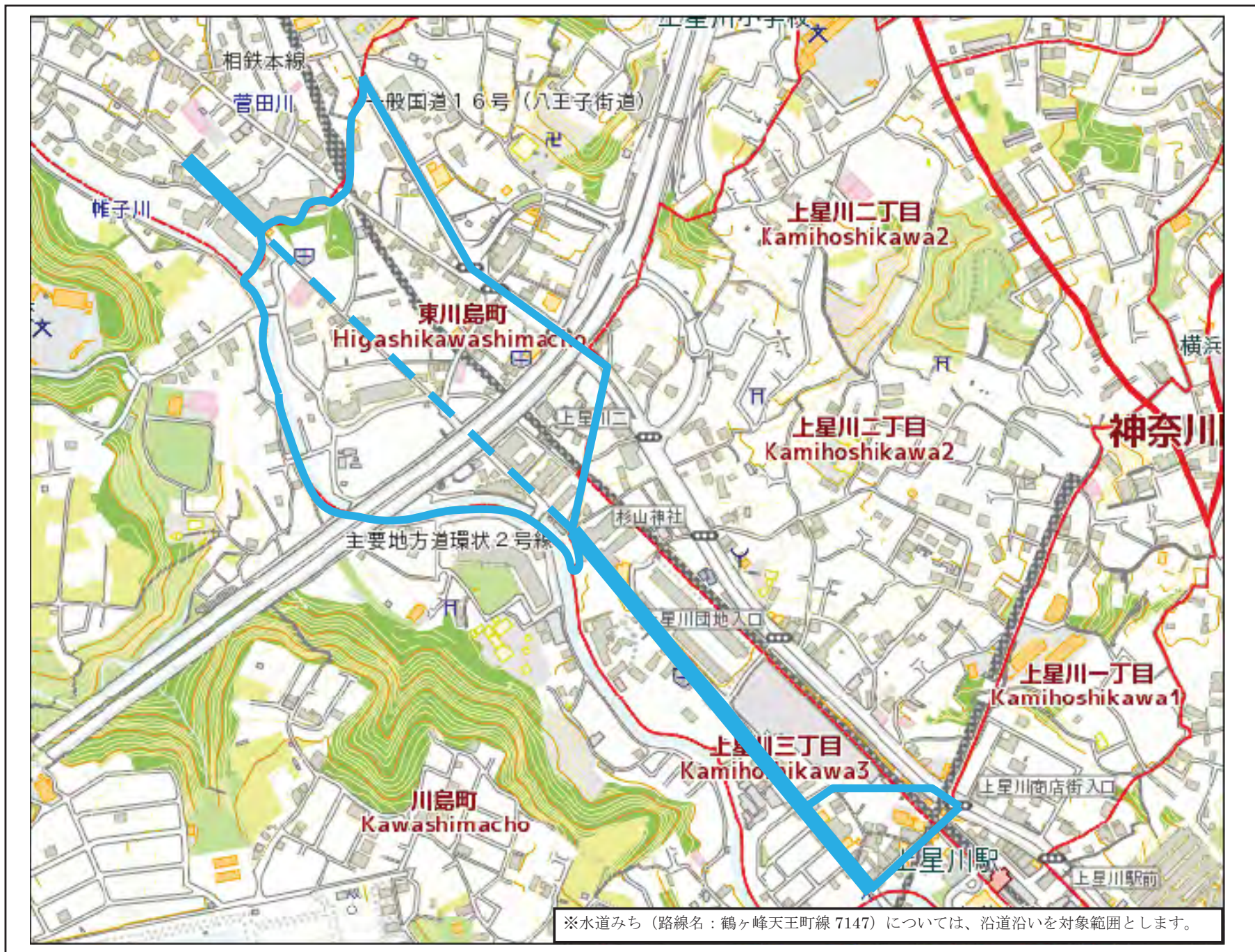
「横浜みどりアップ計画」地域緑のまちづくり

## 上星川地区 地域緑化計画書

計画名：上星川 GREEN UP プロジェクト

推進団体名：上星川レジデンス

この地域緑化計画書は、公開します。





<p>計画期間</p>	<p>平成 27 年度 ～ 平成 29 年度</p>
<p>計画概要</p>	<p><b>【会話の弾む上星川フラワーロード】</b></p> <p>この3年間で、相鉄線上星川駅から西へ進む殺風景な水道みちを花いっぱいのフラワーロードにし、会話の多いコミュニティを作るのが目標です。上星川商店街と地域の住人が一丸となって道路にハンギングバスケットやコンテナを置くことで、『綺麗だね、なんのお花?』という会話が聞こえてくるような地域を目指します。このプロジェクトを機に個々に声かけをしたため、初年度は点々と緑化整備箇所が離れていますが、チラシ配布や回覧板、ニューズレター発行、掲示版を利用し、新規メンバーを獲得しながら『点を線』に繋げ街全体の空間づくりを根付かせていきます。講習会や先生を招き入れた勉強会を重ね個々の知識のレベルアップを図り、補助期間が終えてもレベルダウンしないよう地域の緑アップ団体として継続できる活動をします。</p>
<p>立地環境</p>	<p>緑化整備対象は①保土ヶ谷区の『川島第四町内会の住宅街』（全世帯数約 350 戸）②上星川駅までの『水道みち』沿いの住宅・店舗（約 20 戸）③『上星川商店会』（約全 50 店舗）です。上星川駅の周辺は帷子川の流れる谷の底で南北ともに丘陵地帯です。国道 16 号が並走している水道みちは現在送水管が埋設されており、新築マンション・戸建の他に団地、商店街、床屋、車屋、飲み屋、老人ホーム、コンビニが並んでいます。</p> <p>ここ数年で建設された新築マンションと昔からある商店街・戸建が混在する町の景色には統一感がなく、地域としてまとまりがないように見受けられます。また、手が行き届いてない庭や夜になると暗い道があり、非行と不法投棄、空き巣も発生しています。緑化プロジェクトによって統一した花・コンテナを置き、街全体の景色・気持ちを一体にし、安心して暮らせる魅力的な街にしていくながら、これが主な課題です。</p>
<p>計画の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 殺風景な水道みちがフラワーロードとなり、道通う人の目を楽しませる。</li> <li>・ 緑・花が多くなると、住民同士の会話が多くなり、知り合いが増え、非行、犯罪、不法投棄が減り安心安全の街ができる。</li> <li>・ 老若男女を超えてコミュニティの共通の話題ができる。</li> <li>・ 相鉄線各停駅（上星川、西谷）の発展性に向けて知名度が上がる。</li> <li>・ 講習で学んだ知識・経験を地域の公園、子ども会、長寿会、学校等に還元。</li> <li>・ 旅行、帰省で不在のときでも近所の方の手を借り、お花、家周辺を安心して任せられるような関係になる。</li> <li>・ 横浜駅に足を運ばなくても、商店街で買い物をしてくれるようになる。</li> <li>・ 商店街に新しいテナントが入りやすくなる。</li> <li>・ 新しく引っ越してくる方、昔から住んでいる方が緑化という接点を持ち、良好な関係性を保てるようになる。</li> </ul>

<p>計画期間中の 仲間づくり・資金</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「会話の弾むフラワーロードづくり」を目標として、広報誌等で賛同者を増やし、地元町内会や商店街と連携しながら、会の運営方法等のノウハウを学び、会の運営基盤を構築していきます。</li> <li>・花苗の植え付けや研修会・講習会を通じて、魅力ある地域を創出し、さらなる活動の担い手を発掘・育成していきます。</li> <li>・定期的（月1回程度）に維持管理活動を展開することで、地域への活動の認知度を向上させ、地元町内会や商店街のイベントや活動と連携することで継続性のある活動にします。</li> <li>・緑化整備の1割負担は、基本的に所有者が負担します。また責任感や今後の資金運営も見据えて、維持管理活動についても、1割負担を原則とします。</li> </ul>
<p>計画期間終了後の 仲間づくり・資金</p>	<p>期間終了後には、地域との連携を取りながら、確立した組織となっていること目指します。そのために、町内会、地域のお祭りの中、上星川商店会、公園愛護会、子ども会、長寿会、学校とのつながりを大切にし、様々な活動で協力をしていく予定です。</p> <p>組織として継続するため、お互いに知識交換の場やイベントを通して緑を増やしていきます（例えば増やし方、種、苗の交換など）。また、モチベーションアップのために外部のハンギングバスケットコンテストにも参加していきたいです（期間中に企画できたらより良い）。期間中に学んだ、寄せ植えの仕方、花の増やし方、病気予防対策、剪定など身に付いた知識を今後に生かし、資格を取る方を増やすことで、会が主体となった講習を開催したいと思います。</p> <p>また、横浜市緑の協会の横浜緑の推進団体への加入も視野にいれ、それ以外にも、期間中に得た種、挿し芽、苗から育てられるような知識を活かし、緑化出費を抑えつつ長持ちする綺麗な花を飾ることが可能にします。また、支給される以外の必要な花苗は、各自が進んで負担するような意識を育てます。広報・事務費などの共有出費となる支出については、会費制にする予定です。</p>
<p>創意工夫</p>	<p>保土ヶ谷区の花の『すみれ』をシンボルとします。</p> <p>バンジービオラ、葉牡丹は、コンパクトにまとまり、花の期間も長い為取り組みやすく、その成功が春の花へと繋がると考えています。あそこの庭は何のお花を植えているのかしら？とお互いに興味をもってもらえるよう個々に楽しめる時期もあれば、冬はすみれで必ず統一するという二つの楽しみがあると尚参加しやすいはずです。</p> <p>新しく設立したメンバーの集まりなので、地域にないイベントを企画することができ、街の活性化にも繋がります。例えば、習ったハンギングバスケットの一斉展示やその花を撮る写真コンテストなどのイベントへ繋げ更に輪を広げます。メンバーでない地域の方も参加できるようお花の挿し芽やタネから育てる方法を学び、子ども会や長寿会の老若男女問わず一緒にイベントを企画するのが夢です。</p>

計画年次	計 画 内 容
<p>1年度目 (平成 27 年度)</p>	<p>【民有地緑化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑化整備 約 25 箇所</li> </ul> <p>【地域緑化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修 2 回 (12 月頃 3 月頃) (花・器は整備とする)</li> <li>・ 維持管理 園芸資材購入 (ホース、土、肥料、シャベル、はさみ、消毒、図書等)</li> <li>・ 広報 (広報誌、チラシ、報告書、業者印刷、ニュースレター、インク、紙等)</li> <li>・ ハンギングバスケット展示・写真コンテスト</li> </ul>
<p>2年度目 (平成 28 年度)</p>	<p>【民有地緑化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規目標緑化整備 年間約 20 箇所</li> </ul> <p>【地域緑化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修 4 回程度 (6 月頃 9 月頃 12 月頃 3 月頃) (花・器は整備とする)</li> <li>・ 講習会 2 回程度 季節の花の植え方/種・苗の増やし方を教わる。</li> <li>・ 維持管理 園芸資材購入 (ホース、土、肥料、シャベル、はさみ、消毒、図書等)</li> <li>・ 植え替え (6 月頃 9 月頃 12 月頃 3 月頃)</li> <li>・ イベントごとに広報誌 (緑化整備の活動報告書) を配布/掲示/回覧する。</li> <li>・ ハンギングバスケット展示・写真コンテスト</li> </ul>
<p>3年度目 (平成 29 年度)</p>	<p>【民有地緑化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規目標緑化整備 年間約 20 箇所</li> </ul> <p>【地域緑化活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修 4 回程度 (6 月頃 9 月頃 12 月頃 3 月頃) (花・器は整備とする)</li> <li>・ 講習会 2 回程度 季節の花の植え方/種・苗の増やし方を教わる</li> <li>・ 維持管理 園芸資材購入 (ホース、土、肥料、シャベル、はさみ、消毒、図書等)</li> <li>・ 植え替え (6 月頃 9 月頃 12 月頃 3 月頃)</li> <li>・ イベントごとに広報誌 (緑化整備の活動報告書) を配布/掲示/回覧する</li> <li>・ ハンギングバスケット展示・写真コンテスト</li> </ul>
<p>計画期間 終了後</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域一体となって上星川 GREENUP プロジェクトを継続する。</li> <li>・ 3 年間で学んだことを活かし、種、挿し芽、苗から育てられるようにする。</li> <li>・ 近くにある水道みち公園に還元できるようにする。</li> <li>・ 横浜市緑の協会の横浜緑の推進団体へ加入する。</li> <li>・ イベントごとに広報誌 (緑化整備の活動報告書) を配布/掲示/回覧する。</li> <li>・ ハンギングバスケット展示・写真コンテストを開催する。</li> <li>・ お花に関する資格を取る方を積極的に支援して、その技術を地域に広める。</li> </ul>



# 【会話の弾む上星川フラワーロード】



【緑化整備イメージの例】



## 【主な概要】

- ・ 保土ヶ谷区の花『すみれ』を冬に統一して飾る。他の季節は個々の自由することで地域のみんなが関心を持ち、お互いの庭を行き来できるような空間にする
- ・ 平成27年1月1日時点で約25箇所。年間約20件増やし、最終的に65箇所程度を目指す
- ・ 水道みち軸として『会話の弾む上星川フラワーロード』にする
- ・ ハングングバスケットの一斉展示、写真コンテストを開催し、広報誌に載せる
- ・ 挿し芽、種、苗から育てられるような方法をしっかり学ぶ



## 【緑化イメージ】



概算事業費（単位：千円）<sup>(注1,5)</sup>

助成項目	細目	1年度目（平成27年度）	2年度目（平成28年度）	3年度目（平成29年度）	項目ごとの合計	※【参考】 助成率・助成金額の上限		
1 民有地緑化	①設計等経費	400	760	760	1,920	100%以内		
	(主な内容) 上星川全体の空間づくり（12月・3月）		4回の施工（12月・3月・6月・9月）	4回の施工（12月・3月・6月・9月）				
1 民有地緑化	②緑化整備等経費 (注2)	4,000	3,600	3,600	11,200	90%以内		
	(主な内容) 緑化整備 25箇所x14万円 ハンギングバスケット 25箇所x1万円x2回/年		(主な内容) 緑化整備 20箇所x14万円 ハンギングバスケット 20箇所x1万円x4回/年	(主な内容) 緑化整備 20箇所x14万円 ハンギングバスケット 20箇所x1万円x4回/年				
2 景観木保全	①調査費				0	100%以内		
	②診断書作成費				0	100%以内 (上限20千円/本)		
	③治療費				0	③と④は各景観 木1本につき、 合計50千円以内	100%以内 (上限50千円/ 本)	
	④環境整備費				0		100%以内 (上限50千円/ 本)	
3 地域緑化活動 (注3)	①維持・管理費	500	600	700	1800	①～④の合計 1,000千円以内 /年度		
	②広報・研修費	360	310	210	880			100%以内
	③事務費	100	50	50	200			100%以内 (上限100千円/ 年度)
	④諸雑費	40	40	40	120			100%以内 (上限40千円/ 年度)
年度ごとの合計 (注4, 6, 7, 8)		5400	5360	5360	16120	1～3の合計5,000千円以内/年度		

(注意事項)

注1：概算事業費（予定金額）は、計画の助成金と自己負担金を含めた額となります。計画がない項目や細目は、0（ゼロ）となります。

注2：民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。（助成金申請時に、自己負担金が用意できることが助成金交付の要件となります。）

注3：地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。

注4：民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は1年度につき5,000千円が助成金額の上限となります。（3年度総合計の助成金額の上限は、15,000千円です。）

注5：概算事業費は、千円単位となります。（なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。）

注6：本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。

注7：年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。（年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。）

注8：上限内での年度ごとの項目間、細目間での事業計画の見直しは、可能です。（28年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど）